



今回取材した
ラジオ体操連絡会のメンバー
会長 末成 隆子
副会長 青木 多恵子
副会長 北堀 尚美



市民・団体 インタビュー

鶴ヶ島市
ラジオ体操連絡会



市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

平成15年に設立された「鶴ヶ島市ラジオ体操連絡会」。自治会やご近所の方が集まって、ラジオ体操を行う団体ができ、現在は29会場で行われています。令和4年11月9日(水)に鶴ヶ島市ラジオ体操連絡会の方々インタビューをしました。

●日ごろの活動から思うこと

高齢者が多いので、体調を崩す方もいて、今後縮小してしまうのではないかと思います。

小学生の頃から基本を学んで、きちんとしたラジオ体操をできるようにになってほしいです。

夕焼け放送に、ラジオ体操の音楽を流すのはどうでしょうか。

●コミュニケーションの場

ラジオ体操を通じて知り合い、休む人がいると「どうしたのかしら」とお互いに気遣う関係ができています。

環境教育施設eコラボつるがしまで週一回開催しているグループは、体操終了後に月一回、習字やヘアカットなどを企画して、集いの場にもなっています。

●議員も一緒にラジオ体操の普及

議員が投票の時だけの遠い存在になっていました。市民からもっと議会や議員に近づいていかなければと思います。

地域の活動に参加して、いろんなところで顔を合わせるようになれば、身近になって相談もできるようになるのではないのでしょうか。

最近、小・中学校でラジオ体操

操をしなくなっています。子どもたちがラジオ体操に目を向けるように、一緒に働きかけていきたいです。



●市はボランティアをつなぐ

スポーツ大会などのイベントやつるがフィットの方たち、健康に携わるボランティアの方がたくさんいるのに、つながっていないと感じています。ボランティアの横のつながりができると、よりよい取組ができると思います。

市議会は市民の声を直接聞きに出かけます!

編集 後記

10月及び11月に行われた小中学校の授業公開に各議員が参観させて頂きました。コロナ禍の中、各種学校行事が中止・延期され、制約が付きまとう児童・生徒さんが前向きに楽しく学習する姿に「まちを元気にするちから」を感じました。

第4回定例会では、15人の議員が一般質問で登壇しました。多岐にわたる課題に対し、市民の皆様の声を伺うために広報広聴委員会はこれからも議会と市民の皆様と交流を進めてまいります。

(広報広聴委員)

- 委員長 大野 洋子
- 副委員長 内野 嘉広
- 委員 松尾 孝彦
- 委員 小林 ひとみ
- 委員 太田 忠芳
- 委員 石塚 節子
- 委員 持田 靖明
- 委員 杉田 恭之

(松)